

編 修 趣 意 書

(教育基本法との対照表)

受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
27-127	高等学校	国語科	国語総合	
発行者の 番号・略称	教科書の 記号・番号	教 科 書 名		
17 教出	国総 343	新編国語総合		

1. 編修の趣旨及び留意点

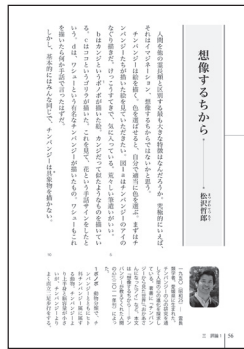
本教科書は、教育基本法に示された「教育の目標（教育基本法第二条の第1～第5号）」を、学習活動を通じて実現できるように編修しました。すなわち、言語や文化についての幅広い知識や教養を身に付け、個人の能力を伸ばし、創造性を培い、自主および自律の精神を養えるようにしました。同時に、生命を尊び、自然を大切にし、主体的に社会の形成に参加する態度、伝統と文化を尊重する態度、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養えるようにしました。

幅広い知識や教養



「彼らがそれを学ばなくてはならない理由」
(三 評論1) P65

生命・自然を尊重する態度



「想像するちから」
(三 評論) 1 P56



「自然保護の二面性」
(十 評論3) P188

社会の形成に参加する態度



「治具」(七 評論2) P133

国際社会に寄与する態度



「少年口伝隊一九四五」
(五 戯曲) P84



「見えない貧困」
(十 評論3) P197

自主および自律の精神



「物語られた過去」(十 評論3) P180

伝統と文化を尊重する態度



「四季の歌」(五 和歌と俳諧) P266

2. 編修の基本方針

本教科書は、**教育基本法第二条に示す教育の目標および学習指導要領の目標**を達成するために、次の方針で編修しました。

1 現代文編 単元ごとに学習目標を簡明に示し、系統的な学習活動を可能にしています。

○評論は、現代社会が抱える諸課題について、**幅広い知識と教養を身に付け**、自ら考察を深めることができるものを厳選しました。

○小説は、長く読み継がれている名作をはじめ、生徒にとって親しみやすい同時代の作家の作品を厳選し、**豊かな情操と道徳心を培える**よう配慮しました。

2 表現編 思考する力と文章表現能力を総合的に高めます。

○メールと手紙、小論文、ディベート、話し合いと会議などの学習活動を通じ、伝え合う力と、情報化時代にふさわしい情報発信能力の育成を旨としました。学習活動を通して、**自他の敬愛と協力を重んずる態度を養える**教材を選定しました。

3 古文編・漢文編 読解の基礎能力を伸ばし、言語文化と伝統に対する理解と関心を深めます。

○古文編は、小・中学校での古典学習との連携を図りました。段階を踏んで学習ができるように考慮し、教材に即してコラムを置きました。

○漢文編は、入門単元、漢文コラム、教材ごとの重要句型など生徒が自ら学習できる工夫をしました。

4 全編にわたり、**我が国の国土と郷土の美しさ、伝統文化の豊かさ**について知り、**日本語を愛する心をはぐくむ**教材を多数選定しました。教材理解の助けとなる写真や挿図を豊富に配しました。また、古典の世界と現代とをつなぐ言語活動を通して、私たちと古人との**言語文化の共通点や相違点**について考えることができるコラム教材を設定しました。

3. 対照表

図書の内容・構成と**教育基本法第二条の第1号から第5号**との対応を示します。

教育基本法第二条

〈第1号〉幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養い、豊かな情操と道徳心を培うとともに、健やかな身体を養うこと。

〈第2号〉個人の価値を尊重して、その能力を伸ばし、創造性を培い、自主及び自律の精神を養うとともに、職業及び生活との関連を重視し、勤労を重んずる態度を養うこと。

〈第3号〉正義と責任、男女の平等、自他の敬愛と協力を重んずるとともに、公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養うこと。

〈第4号〉生命を尊び、自然を大切にし、環境の保全に寄与する態度を養うこと。

〈第5号〉伝統と文化を尊重し、それらをはぐくんできた我が国と郷土を愛するとともに、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うこと。

図書の構成・内容	特に意を用いた点や特色	該当箇所
現代文編		
<p>一 随筆 頭の中の無限大（坂口恭平） 『赤毛のアン』との出会い（茂木健一郎） ズームアップ①現代文入門——未知の自分と出会う</p>	<p>作品と出会い自分を変えることを学習目標として単元を構成しました。「頭の中の無限大」「赤毛のアン」との出会い」では今までに出会ったことのないような発想や生き方にふれて、生徒が自分を変えるヒントを見つけることができます。教養を身に付け、生徒の創造性を培い、自主及および自律の精神を養えるようにしました。(第1号, 2号)</p>	P9-22
<p>二 小説1 雨傘（川端康成） デューク（江國香織） ほねとたね（川上弘美） ズームアップ②小説の読み方1 人物の心情を捉える</p>	<p>人物の心情を読み取ることを学習目標として単元を構成しました。「雨傘」では別れる前に写真を撮る少年と少女、「デューク」では愛犬の死を悲しむ私の前に現れた少年、「ほねとたね」では自分でも捉えきれない異性への感情など、作中の人物の行動や心情の変化を読み取ることで、個人の価値を尊重して、その能力を伸ばし、創造性を培うことができるようにしました。(第2号, 3号)</p>	P23-54
<p>三 評論1 想像するちから（松沢哲郎） 彼らがそれを学ばなければならない理由（内田樹） ズームアップ③評論の読み方1 筆者の意見を理解する</p>	<p>意見と根拠を読み取り語り伝えることの意味を考えることを学習目標として単元を構成しました。「想像するちから」では人間と他の霊長類との違いについて最も大きな特徴は想像するちからであるという筆者の主張を読解します。「彼らがそれを学ばなければならない理由」では、学習する理由について筆者の主張を読解します。読解を通して、筆者の意見を正確に捉える方法を身につけることができます。(第1号)</p>	P55-70
<p>四 詩 サーカス（中原中也） わたしが一番きれいだったとき （茨木のり子） 二十億光年の孤独（谷川俊太郎） ズームアップ④詩の形と響きについて</p>	<p>詩の音楽性とイメージを感じ取ることを学習目標として単元を構成しました。詩は、私たちの心の内にある微妙な感情とともに、韻律やイメージのような言葉の独特のはたらきをも際立たせてくれる芸術です。近現代を代表する詩である「サーカス」「わたしが一番きれいだったとき」「二十億光年の孤独」の三編を声に出し想像力をはたらかせて味わうことで、真理を求めめる態度を養い、豊かな情操と道徳心を培えるようにしました。(第1号)</p>	P71-82
<p>五 戯曲 少年口伝隊一九四五（井上ひさし） ズームアップ⑤戦争と文学</p>	<p>語り伝えることの意味を考えることを学習目標として単元を構成しました。「少年口伝隊一九四五」では、原爆の投下された広島で、生き残った少年三人が口伝隊の仕事を引き受けます。過去のできごとを知ることで、豊かな情操と道徳心を培うとともに、生命を尊ぶ態度、伝統と文化を尊重する態度を養えるようにしました。(第1号, 2号, 4号, 5号)</p>	P83-96
<p>六 小説2 とんかつ（三浦哲郎） 葉桜と魔笛（太宰治） ズームアップ⑥小説の読み方2 場面や状況を捉える</p>	<p>場面・状況を読み取ることを学習目標として単元を構成しました。「とんかつ」では城下町になぜ親子が来たのか初めに明かされません。「葉桜と魔笛」では妹に謎の恋文が届きます。小説には謎解きのおもしろさがあり、手がかりは全て作品の中にあります。想像と推理をはたらかせる読解が楽しめます。人物の行動や心情の変化を読み取ることで、個人の価値を尊重して、その能力を伸ばし、創造性を培うことができるようにしました。(第2号, 3号, 5号)</p>	P97-124
<p>七 評論2 水の東西（山崎正和） 治具（塚本由晴） ズームアップ⑦評論の読み方2 抽象的な表現と思考に慣れる</p>	<p>抽象的な思考と表現に慣れることを学習目標として単元を構成しました。「水の東西」では、水を扱う造形に日本と西洋の文化の違いが見てとれます。「治具」では道具と治具の違いの考察から、住宅や街づくりのあり方に考えを広げます。東西文化の比較から、人と人とのコミュニケーションについて考え、自主及び自律の精神を養うとともに、職業及び生活との関連を重視し、勤労を重んずる態度を養えるようにしました。(第2号, 5号)</p>	P125-142

図書の構成・内容	特に意を用いた点や特色	該当箇所
八 俳句・短歌 折々のうた（大岡信） 作品 ズームアップ⑧句会を開いてみよう	短詩型文学の技法と魅力を知ることが学習目標として単元を構成しました。「折々のうた」【作品】では、伝統的な文学形式の作品にふれることを通して、豊かな情操と道徳心、創造性を培うとともに、我が国の伝統と文化を尊重し、それらをはぐくんできた我が国と郷土を愛し、他国を尊重する態度を養えるようにしました。〈第1号、2号、5号〉	P143-154
九 小説3 羅生門（芥川龍之介） 夜中の汽笛について、あるいは物語の効用について（村上春樹） ズームアップ⑨小説の読み方3 視点や語り注目する	視点や語りに着目して作品を読むことを学習目標として単元を構成しました。「羅生門」では、「下人」の行動や心情の変化をたどることで、正義と責任を重んずるとともに、公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養えるようにしました。また、「夜中の汽笛について、あるいは物語の効用について」では、人物造型も物語の結末もない新しい小説にふれて、創造性を培うことができるようにしました。〈第2号、3号〉	P155-178
十 評論3 物語られた過去（内山節） 自然保護の二面性（森岡正博） 見えない貧困（湯浅誠） ズームアップ⑩評論の読み方3 異論・反論を想定した論の展開を知る	異論・反論を踏まえた論の展開を知ることが学習目標として単元を構成しました。「物語られた過去」では、歴史には誰もが認める客観的な事実というものがあるか、「自然保護の二面性」では、自然保護という言葉に潜む逆説、「見えない貧困」では貧困は努力不足の結果なのかについて考えさせます。現代の世界が抱える課題を、異なる意見の対話を参考に、自分の意見をもてるようになることを狙います。主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度、自然を大切に、環境の保全に寄与する態度を養えるようにしました。〈第1号、3号、4号〉	P179-206
表現編		
①メールと手紙 ②スピーチをしよう ③ディベートをしよう ④小論文を書こう ⑤会議と話し合いの技法 ⑥詩歌を作ろう	【表現】 では、ワーク中心の活動を通して表現する力が身につくように組み立てました。生徒の創造性を培い、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養えるようにしました。〈第2号、3号〉	P207-238
古文編		
一 古文入門 古典の一節を音読しよう 解釈のために①古典の言葉	小・中学校で学んできた作品の冒頭部分を中心に音読することにより、古典遺産の価値を知って、伝統と文化を尊重し、それをはぐくんできた我が国と郷土を愛する心と、幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養います。〈第1号、5号〉	P229-234
二 説話 宇治拾遺物語 児のそら寝 古今著聞集 老僧の水練 解釈のために②現代語訳の仕方	説話文学 を読むことにより、伝統と文化を尊重し、それをはぐくんできた我が国と郷土を愛する心を養います。また、公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養います。〈第3号、5号〉	P235-242
三 随筆 徒然草 高名の木登りといひし男／仁和寺にある法師／奥山に猫またといふものありて／花は盛りに 助動詞「き」と「けり」 係り結び 解釈のために③用言の活用	三大随筆のうち『徒然草』を読むことにより、伝統と文化を尊重し、それをはぐくんできた我が国と郷土を愛する心を養います。また、公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養います。〈第3号、5号〉	P243-254
四 物語1 平家物語 宇治川の先陣争い 解釈のために④助動詞のはたらき 古典の窓 武士と馬	軍記物語 を読み、伝統と文化を尊重し、それをはぐくんできた我が国と郷土を愛する心を養い、戦いをめぐる古代の人々の諸相を読むことにより、生命を尊ぶ態度を養います。〈第4号、5号〉	P255-264

図書の構成・内容	特に意を用いた点や特色	該当箇所
五 和歌と俳諧 四季の歌 心の歌 解釈のために⑤和歌の修辞 奥の細道 旅立ち／平泉 俳諧	「四季」と「心」をテーマに、 三大和歌集 を読み、伝統と文化を尊重し、それをはぐくんできた我が国と郷土を愛する心を養います。自然賛歌を多く選び、自然を大切に、環境の保全に寄与する態度を養うよう配慮しました。また、『奥の細道』と 俳諧 作品を読むことにより、伝統と文化を尊重し、それをはぐくんできた我が国と郷土を愛する心を養います。〈第4号、5号〉	P265-282
六 物語2 竹取物語 かぐや姫の昇天 伊勢物語 芥川／さらぬ別れ 表現コラム 古典の世界を現代によみがえらせよう 解釈のために⑥敬語	日本最初の物語文学である『 竹取物語 』と歌物語『 伊勢物語 』を読むことにより、伝統と文化を尊重し、それをはぐくんできた我が国と郷土を愛する心を養います。〈第5号〉	P283-296
漢文編		
一 漢文入門 訓読の基礎／名言 漢文コラム 漢字の音と訓	古典遺産の価値を知って、伝統と文化を尊重し、それをはぐくんできた我が国と郷土を愛する心と、幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養います。また、漢文の歴史を知り、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養います。〈第1号、5号〉	P297-302
二 故事 助長／虎の威を借る狐／蛇足 漢文コラム 再読文字	ことわざとして今に生きる古典作品を読み、伝統と文化を尊重し、それをはぐくんできた我が国と郷土を愛する心を養います。〈第5号〉	P303-310
三 史伝 管鮑の交わり／晏子の御者／死せる孔明生ける仲達を走らす	故事成語として現代でも親しまれている言葉のもととなった 史伝 作品を読むことにより、伝統と文化を尊重し、それをはぐくんできた我が国と郷土を愛する心を養います。〈第5号〉	P311-318
四 唐詩 春暁／登鶴鵲樓／江雪／涼州詞／送元二使安西／早発白帝城／春望／香炉峰下新卜山居草堂初成偶題東壁 漢文コラム 唐詩について	日本人にも親しまれてきた代表的な 唐詩 8首を読み、伝統と文化を尊重し、それをはぐくんできた我が国と郷土を愛する心を養います。〈第5号〉	P319-328
五 思想 論語 老子と莊子 大道廃れて、仁義有り／胡蝶の夢 知っていること、知らないこと (中野孝次)	我が国の思想に大きな影響を及ぼした 儒家と道家の文章 を読み、伝統と文化を尊重し、それをはぐくんできた我が国と郷土を愛する心を養います。幅広い知識と教養を身につけ、真理を求める態度、また、自他の敬愛と協力を重んじて主体的に社会の形成に参画しようとする態度を養います。〈第1号、3号、5号〉	P329-340

4. 上記の記載事項以外に特に意を用いた点や特色

学校教育法第五十一条に示す高等学校教育の目標を達成するため、編修上の工夫をしました。

- ◎中学校までの学習を更に**発展拡充**させ、**豊かな人間性や創造性**をはぐくみ、**国家及び社会の形成者として必要な資質を養う**とともに、**高い教養、専門的な知識、技術及び技能を習得**することができるよう、**多種多様な文種の文章**を厳選して構成しました。〈学校教育法第五十一条 一、二〉
- ◎言語活動を通して自分というものを知り、**個性の確立**に向かって努力し、社会についての**広く深い理解と健全な批判力と社会の発展に寄与する態度**を養うことができるよう配慮しました。〈同三〉
- ◎より多くの人に見やすい**カラーユニバーサルデザイン**に配慮し、色覚特性を踏まえた、**判読しやすい配色やレイアウト**、**表示の工夫**により、**学びやすい紙面づくり**に配慮しました。〈同二〉
- ◎教科書の印刷には**再生紙と植物油インキ**を使用し、**地球環境に配慮**しました。〈同三〉

編 修 趣 意 書

(学習指導要領との対照表, 配当授業時数表)

受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
27-127	高等学校	国語科	国語総合	
発行者の 番号・略称	教科書の 記号・番号	教 科 書 名		
17 教出	国総 343	新編国語総合		

1. 編修上特に意を用いた点や特色

編修の基本方針

- 1 さまざまな言語活動を通して、言葉への興味・関心を高めることができるような教材化を目指しました。
- 2 現代社会が抱える諸課題について、幅広い知識と教養を身につけ、自ら考察を深めることができる教材を厳選しました。
- 3 長く読み継がれている名作をはじめ、現在活躍中の作家による親しみやすい作品も掲載して、豊かな情操と道徳心を培えるよう配慮しました。
- 4 我が国の国土の美しさ、郷土の温かさ、伝統文化の豊かさについて知り、日本語を愛する心をはぐくむ教材を多数選定しました。また、古典の世界と現代とをつなぐ言語活動を通して、私たちと古人との言語文化の共通点や相違点について考えることができるコラム教材を設定しました。
- 5 自ら学び自ら考えることを重視し、生徒の主体の形成に資するような教材化を工夫しました。

教材のねらいと構成

教材を読み進めるうえで、読解のポイントとなる本文の箇所には「？」印をつけ、脚注欄に発問を設けました。生徒が、注意深く本文を読み進める一助にすることができます。

現代文編では、作品中で、身につけたい語彙、知っておきたい成句や慣用句などがある場合は、その語に「*」をつけ、見開きごとにまとめました。取り立てて学習したい漢字も脚注欄に見開きごとにまとめました。

古文編では、重要古語を取り立て、教材末にまとめました。ここで取り立てた重要古語は、付録「重要古語一覧」に、その意味と訳し方・留意点などを掲げ、関連を図

▼P16~17

脚問

『赤毛のアン』との出会い ――茂木健太郎

「青い紙が呼んでいる」という表現があります。それは小学校で習ったことですか。学校の図書で本棚を眺めたら、ふいにここに書いていた『赤毛のアン』というタイトルが目に入りました。気にならずに手に取ったところ、あっという間に夢中になり、そして、気が止まらなくなりました。

読書後の感想、それは、脚問の一語に尽きます。

小学生の低学年の頃から、僕はすでにいろいろな本を読んでいました。学校の図書棚から、あるいは自宅の本棚から。手に本を握るとは片っ端から読み進めていた。おそろしく二年に二百冊以上読んでいたと思います。空が晴れたら紙を眺めたら、用が済んだら紙を捨ててしまったり、「脚問」の生活です。

けれどその中でも、僕にとっても、『赤毛のアン』はいまだかつて出会ったことのないタイプの作品でした。主人公のアン・シャーリーは、呼び名は違いますが、くたくたの服を着て、お茶の缶詰をいっただうり、自分だけが一人旅にでた、と勝手に想像して、みんなが想像する自由な生活はなかなかにみんなが想像できない、僕はそれを読んだことがありませんでした。想像することの大切さを、あそこまで強固にアピールした小説というものは、出会ったことがなかったのです。

「やられた」という感じで、完全にほろびました。

しかしなんといっても、僕が小学生で、脚問を受けたのは、その感情がどこかで来るものなのか、はつきりとは解きません。自分の中の

脚問

「青い紙が呼んでいる」という表現があります。それは小学校で習ったことですか。学校の図書で本棚を眺めたら、ふいにここに書いていた『赤毛のアン』というタイトルが目に入りました。気にならずに手に取ったところ、あっという間に夢中になり、そして、気が止まらなくなりました。

読書後の感想、それは、脚問の一語に尽きます。

小学生の低学年の頃から、僕はすでにいろいろな本を読んでいました。学校の図書棚から、あるいは自宅の本棚から。手に本を握るとは片っ端から読み進めていた。おそろしく二年に二百冊以上読んでいたと思います。空が晴れたら紙を眺めたら、用が済んだら紙を捨ててしまったり、「脚問」の生活です。

けれどその中でも、僕にとっても、『赤毛のアン』はいまだかつて出会ったことのないタイプの作品でした。主人公のアン・シャーリーは、呼び名は違いますが、くたくたの服を着て、お茶の缶詰をいっただうり、自分だけが一人旅にでた、と勝手に想像して、みんなが想像する自由な生活はなかなかにみんなが想像できない、僕はそれを読んだことがありませんでした。想像することの大切さを、あそこまで強固にアピールした小説というものは、出会ったことがなかったのです。

「やられた」という感じで、完全にほろびました。

しかしなんといっても、僕が小学生で、脚問を受けたのは、その感情がどこかで来るものなのか、はつきりとは解きません。自分の中の

身につけたい語彙・成句など

大膽 眺める
懐かしく 戻る
懐かしく 戻る
懐かしく 戻る

17 『赤毛のアン』との出会い

「学習の手引き」は、学習者が、**基礎的・基本的知識**をもとに、自ら課題を発見し解決できるよう、**思考力・判断力・表現力を高める工夫**を凝らしました。

「学習の手引き」には、本文を的確に理解できるように、段階に配慮して、設問をおきました。下段には「ヒント」を示して、学習の助けとしました。

漢文編の「学習の手引き」には「**句型**」も示しました。「句型」では、本文中に出てくる重要な基本句型を抽出し、その用法と訳し方を示し、付録の「漢文基本句型の整理」にも関連させました。

また、漢文の知識を深める「漢文コラム」を設けました。

学習の手引き

① 高名の本下りば、なぜ、群文ばかりにらつてから通ぢますか、心して下りよ。」と置きかけたのか。
② 作者は、高名の本下りをどのように詳細に述べているか。

7 飛び下るも、下りらん、飛び下りても、下りおれんやう。
8 申し侍りしかば、は誰が誰ぞ。
9 そのよに候へ、目くるめき、枝危なきほどは、おれが恐れ侍れば、申さず、過らは、やすきところになりて、必ず仕まつるに候ふ」と言ふ。
10 申し候へども、主人の威めにかなへり、懼も、難きとぞを説き出だして後、やす思へば、必ず落つと侍るやらん。(前)○九段

11 高名の本下りは、なぜ、群文ばかりにらつてから通ぢますか、心して下りよ。」と置きかけたのか。
12 作者は、高名の本下りをどのように詳細に述べているか。

13 高名の本下りは、なぜ、群文ばかりにらつてから通ぢますか、心して下りよ。」と置きかけたのか。
14 作者は、高名の本下りをどのように詳細に述べているか。

245 | 徳然堂 高名の本下りとといひし舞

学習の助けとなるヒント

① 高名の本下りは、なぜ、群文ばかりにらつてから通ぢますか、心して下りよ。」と置きかけたのか。
② 作者は、高名の本下りをどのように詳細に述べているか。

教材の特色

優れた日本の古典作品や近代の名作をはじめ、多様なテーマで配列された評論にふれることで、「読むこと」の能力を高め、生徒が主体的に読書し表現する契機となるような教材を選択・配置しました。

○現代文編

格調高い文章、定評ある作品等を採録して、論理的な文章を的確に読み、文学的文章を味わう力を養うだけでなく、そこから**人間・社会・自然**などについて自分の考えを深め、発展させるよう留意しました。また、基礎的事項を確認し、話すこと・聞くこと、書くことの言語活動を効果的に取り入れ、積極的に表現することを通して生徒の**生きる力**を育成しうよう配慮しました。

▼「とんかつ」(六 小説2) P98 P103

とんかつ

三浦賢郎

須賀はるよ、三十八歳、主婦、同 直衣、十五歳(今春中学卒業)。

前前カドには俺せた女文字でう書いてあつた。住所は、青森縣三戸郡下の村、赤地の下に、光林寺内である。逆くに沼澤地を控えた北陸の城下町でも、東進りになる目立たない粗風の宿だから、こういう連れの客は珍らしい。日が暮れて間もなく、女中が二人連れの客だといひ、どうせ素直まりの若い男だろうと思ひながら出てみると、案に相違して地味な相装の四十歳配の男が一人、戸口につまり立ち立っている。連れの家は見えない。

とんかつ

「へえ、雪水になりません、昨日から、この本山に入門するんでやん。」母親は目をしばたながら言つた。それで、この親子にまつわる話が一段に解決す。大木山、というのは、こからパスへ半時間ほの山にある、紅葉が最高い古刹で、毎年春先になると、そこへ入門

1 青森 高名の本下り
2 高名の本下り

3 高名の本下り
4 高名の本下り
5 高名の本下り
6 高名の本下り
7 高名の本下り
8 高名の本下り
9 高名の本下り
10 高名の本下り

103 | とんかつ

▼「自然保護の二面性」(十 評論3) P188-189

自然保護の二面性

森岡正博

私が「環境保護」という言葉を知つたのは、今から三十年ほど前のことである。当時、哲学や心理学を専攻してゐた私は、地産地消問題等について文の質問がどのように問はなければならぬかを考へていた。それにたづなつて調べていると、環境倫理学、生態系倫理学というものがちやうと成立し始めたところらしいということがわかつた。

そこで、このようなことが議論されてきた。例えば、ナイアガラの滝は貴重な自然景観であるから、そのまゝの形で手を付けずに保存しなければならぬと言われる。しかしながら、実は、ナイアガラの滝はその激流エネルギーによって、滝の柱石を少しずつ崩してしまつていゝ。あるから、時がたてば、滝の形は変わっていくのであり、やがてこの美しい景観は崩壊してしまつてしまふかもしれない。したがって、その景観を守るために、人間はテクノロジーを使って、滝が崩れないように保存するべきかもしれない。しかしそのように補強したナイアガラの滝というのは、もはや貴重な自然景観とは言えないのではないだろうか。このように、美しい貴重な自然をそのままの姿で守ろうとする、どうしても人間が手を入れて維持しなければならなくなる。自然保護といふ営みに、人間による自然支配

1 環境倫理学、生態系倫理学
2 環境倫理学、生態系倫理学
3 環境倫理学、生態系倫理学
4 環境倫理学、生態系倫理学
5 環境倫理学、生態系倫理学

189 | 自然保護の二面性

古典の入門は丁寧に段階を踏み、「古典A」「古典B」へとつながる古典学習の基盤となる作品を中心に掲載しました。

○古文編

宇治拾遺物語・古今著聞集・徒然草・平家物語・万葉集・古今和歌集・新古今和歌集・奥の細道・竹取物語・伊勢物語の合計10作品と芭蕉・蕪村・一茶の俳諧作品。
【入門】①— 古文入門：小・中学校でも学習した作品の冒頭を中心に全文傍訳で掲載。

②二 説話：「児のそら寝」全文傍訳→「老僧の水練」部分傍訳

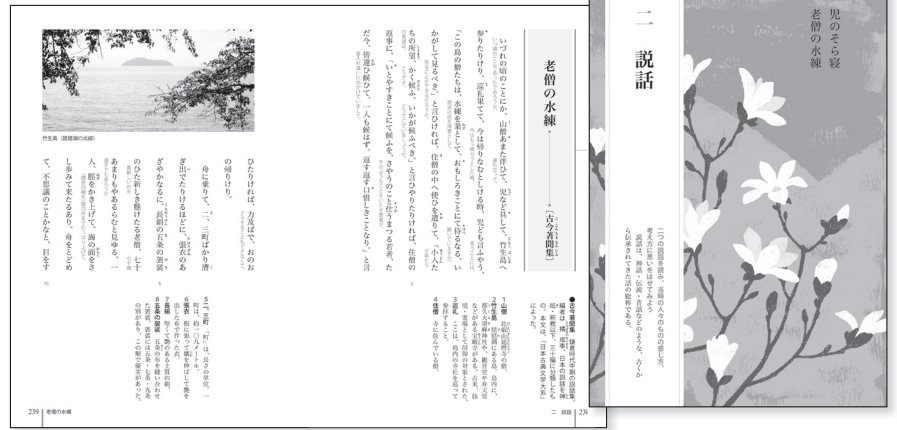
○漢文編

孟子・戦国策・十八史略・史記・論語・老子・荘子の7作品と、唐詩8首。また、古典に関連する近代以降の文章として、「知っていること、知らないこと」(中野孝次)を、論語に関連させて掲載。

【入門】①— 漢文入門：訓読の基礎(訓読の仕方、返り点の種類、書き下し文のルール) →名言

②二 故事：「助長」書き下し文・現代語訳→「虎の威を借る狐」書き下し文→「蛇足」漢文のみ

▼「老僧の水練」(二 説話) P238-239 P235



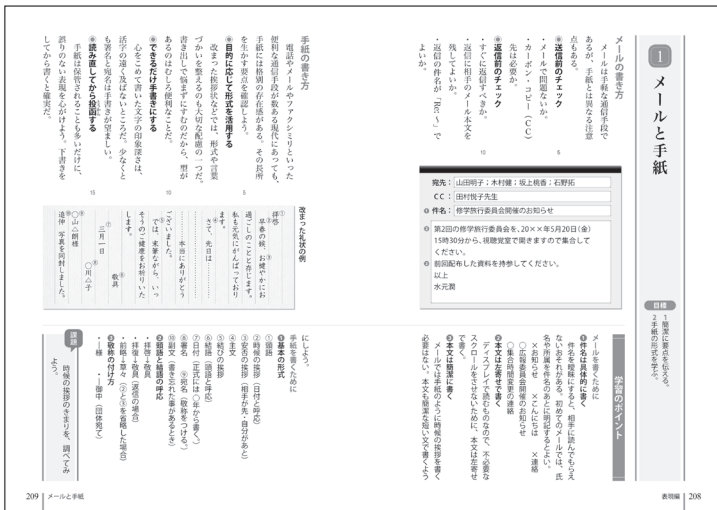
▼「蛇足」(二 故事) P308-309 P303



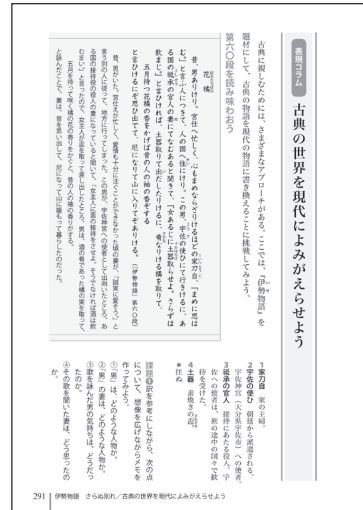
言語活動の特色

表現編と古文編の適所に、「メールと手紙」「スピーチ」「ディベート」「小論文」「会議と話し合い」などのさまざまな言語活動を盛り込んだ教材を設定しました。「話す・聞く・書く」言語活動を通して、自分の考えが他者に伝わることの喜び、コミュニケーションの必要性を実感できるよう工夫しました。

▼表現1 「メールと手紙」 P208-209



▼表現コラム 「古典の世界を現代によみがえらせよう」 P291



2. 対照表

凡例 A=話すこと・聞くこと B=書くこと C=読むこと
 伝=伝統的な言語文化に関する項目 言=言葉の特徴やきまりに関する事項 漢=漢字に関する事項

図書構成・内容		学習指導要領の内容	該当箇所	配当時数
現代文編				
一 随筆	頭の中の無限大 (坂口恭平) 『赤毛のアン』との出会い (茂木健一郎) ズームアップ①現代文入門——未知の自分と出会う	C (1)アエオ (2)エ 伝(ア) 言(ア)(イ) 漢(ア)	P9-22	1 1
二 小説1	雨傘 (川端康成) デューク (江國香織) ほねとたね (川上弘美) ズームアップ②小説の読み方1 人物の心情を捉える	C (1)アウエオ (2)エ 伝(ア) 言(ア)(イ) 漢(ア)	P23-54	1 2 2
三 評論1	想像するちから (松沢哲郎) 彼らがそれを学ばなければならない理由 (内田樹) ズームアップ③評論の読み方1 筆者の意見を理解する	C (1)アイエオ (2)イエ 伝(ア) 言(ア)(イ) 漢(ア)	P55-70	3 3
四 詩	サーカス (中原中也) わたしが一番きれいだったとき (茨木のり子) 二十億光年の孤独 (谷川俊太郎) ズームアップ④詩の形と響きについて	C (1)アウエオ (2)イエ 伝(ア) 言(ア)(イ) 漢(ア)	P71-82	1 1 1
五 戯曲	少年口伝隊一九四五 (井上ひさし) ズームアップ⑤戦争と文学	C(1)アウオ (2)ア 言(ア)(イ) 漢(ア)	P83-96	3
六 小説2	とんかつ (三浦哲郎) 葉桜と魔笛 (太宰治) ズームアップ⑥小説の読み方2 場面や状況を捉える	C (1)アウエオ (2)エ 伝(ア) 言(ア)(イ) 漢(ア)	P97-124	3 3
七 評論2	水の東西 (山崎正和) 治具 (塚本由晴) ズームアップ⑦評論の読み方2 抽象的な表現と思考に慣れる	C (1)アイエオ (2)イエ 伝(ア) 言(ア)(イ) 漢(ア)	P125-142	3 2
八 俳句・短歌	折々のうた (大岡信) 作品 ズームアップ⑧句会を開いてみよう	C (1)アウオ (2)ウエ 伝(ア) 言(ア)(イ) 漢(ア)	P143-154	2 1
九 小説3	羅生門 (芥川龍之介) 夜中の汽笛について、あるいは物語の効用について (村上春樹) ズームアップ⑨小説の読み方3 視点や語り注目する	C (1)アウエオ (2)アエ 伝(ア) 言(ア)(イ) 漢(ア)	P155-178	4 2
十 評論3	物語られた過去 (内山節) 自然保護の二面性 (森岡正博) 見えない貧困 (湯浅誠) ズームアップ⑩評論の読み方3 異論・反論を想定した論の展開を知る	C (1)アイエオ (2)イエ 伝(ア) 言(ア)(イ) 漢(ア)	P179-206	2 2 2
表現編				
①メールと手紙 ②スピーチをしよう ③ディベートをしよう ④小論文を書こう ⑤会議と話し合いの技法 ⑥詩歌を作ろう	A (1)アイウエ (2)アイウ B (1)アイウエ (2)アイウ	P207-238	B8 A5 A5 B9 A5 B8	
			計	85 時間 (A 15 時間) (B 25 時間)

図書の構成・内容		学習指導要領の内容	該当箇所	配当時数
古文編				
一 古文入門	古典の一節を音読しよう（竹取物語・源氏物語・枕草子・梁塵秘抄・方丈記・平家物語・徒然草・曾根崎心中） 解釈のために①古典の言葉	C (1)イ (2)イ 伝 (ア)	P229-234	3
二 説話	宇治拾遺物語 児のそら寝 古今著聞集 老僧の水練 解釈のために②現代語訳の仕方	C (1)ウ (2)イ 伝 (ア)・(イ) 言 (ア)・(イ)	P235-242	4
三 随筆	徒然草 高名の木登りといひし男／仁和寺にある法師／奥山に猫またといふものありて／花は盛りに 助動詞「き」と「けり」 係り結び 解釈のために③用言の活用	B (1) ア・ウ・エ (2)ア C (1)ア・ウ・エ (2)イ 伝 (ア)・(イ) 言 (ア)・(イ)	P243-254	5
四 物語 1	平家物語 宇治川の先陣争い 解釈のために④助動詞のはたらき 古典の窓 武士と馬	C (1)ア・ウ・エ・オ (2)イ 伝 (ア)・(イ) 言 (ア)・(イ)	P255-264	5
五 和歌と俳諧	四季の歌／心の歌 解釈のために⑤和歌の修辞 奥の細道 旅立ち／平泉 俳諧	C (1)ア・ウ・エ・オ (2)ウ・エ 伝 (ア)・(イ) 言 (ア)・(イ)	P265-282	5
六 物語 2	竹取物語 かぐや姫の昇天 伊勢物語 芥川／さらぬ別れ 表現コラム 古典の世界を現代よみがえらせよう 解釈のために⑥敬語	B (1) ア・ウ・エ (2)ア C (1)ア・ウ (2)ア・エ 伝 (イ) 言 (ア)・(イ)	P283-294	9 (B5)
漢文編				
一 漢文入門	訓読の基礎／名言 漢文コラム 漢字の音と訓	C (1)ア (2)イ 伝 (ア)・(イ) 言 (ア)・(イ)	P295-302	5
二 故事	助長／虎の威を借る狐／蛇足 漢文コラム 再読文字	C (1)イ (2)イ 伝 (ア)・(イ) 言 (ア)・(イ)	P303-310	5
三 史伝	管鮑の交わり／晏子の御者／死せる孔明生ける仲達を走らす	C (1)イ・ウ (2)イ 伝 (イ) 言 (イ)	P311-318	4
四 唐詩	春暁／登鶴鵲楼／江雪／涼州詞／送元二使安西／早発白帝城／春望／香炉峰下新卜山居草堂初成偶題東壁	C (1)ア・イ・ウ・エ (2)イ 伝 (ア)・(イ)	P319-328	5
五 思想	論語 老子と莊子 大道廃れて、仁義有り／胡蝶の夢 知っていること、知らないこと (中野孝次)	C (1)ア・イ・ウ・エ・オ (2)イ 伝 (ア)・(イ) 言 (イ)	P329-340	5
			計	55時間 (B 5時間)